

地震災害予測研究会（第9回）議事要旨

日 時：平成25年10月1日(火) 14:00～16:00

場 所：損保料率機構 29階 L1L2 会議室

出席者：（順不同、敬称略）

（委員）北川良和 翠川三郎

和泉正哲 緑川光正 瀨瀬一起 腰原幹雄 林康裕 境有紀

（機構）杉本(リスク業務室長) 市川(火災・地震保険部長)

丸楠(火災・地震保険部地震グループリーダー)

（事務局）損保料率機構リスク業務室

議 事：

1. 住宅の損壊被害予測手法に関する研究について

A. 研究事業の委託先より、前回の研究会における意見を踏まえた被害関数を再報告した。また、作成した被害関数と地震保険実績との整合性の確認を進めた。

B. 委員から、下記の意見があった。

- 1) 被害関数は概ね妥当であるが、応答解析の建物モデル等の前提・仮定条件を明確にし、その条件による結果の違いを整理されたい。
- 2) 被害関数と地震保険実績の被害率の大小関係が地震によって異なる要因を検討するには、応答スペクトルの減衰の大きさや被害の地域差を分析してみると良い。

以 上